

プラネタリーヘルスに関するサンパウロ宣言
すべての人にプラネタリー・ヘルスを：大転換を実現するためのコミュニティの橋渡し

目次:

はじめに	1
キーメッセージ	2
すべての人々へ--	2
農業分野とフードシステムに携わる方へ--	2
アーティスト、詩人、作家、音楽家へ--	2
企業の方へ--	2
都市と都市計画を担当する方へ--	3
経済に関わる方へ--	3
金融機関の方へ--	3
資金提供者の方へ--	4
政府へ--	4
医療従事者の方へ--	4
ヘルス・セクター(広い意味での健康に関わる多様な部門)関係者の方へ--	5
国際機関の方へ--	5
法律家・議員の方へ--	5
メディアの方へ--	6
研究者の方へ--	6
学校の方へ--	6
宗教・信仰の指導者へ--	6
技術者の方へ--	7
大学・高等教育機関関係者へ--	7
青少年代表の方へ--	7
結論	7

はじめに

私たち、プラネタリーヘルスの国際コミュニティは、今、目の前で起こりつつある地球の自然システムの劣化が、世界中のすべての人々の健康にとって明らかな脅威であると警告します。私たち、そして私たちが生きている生物界（living world）の健康とウェルビーイングを最適な状態とするには、公正な、世界レベルでの生活様式の転換が必要です。

世界に波紋を投げかける苦悩の中で最も新しいものが COVID-19 のパンデミックです。気候変動、生物多様性の喪失、空気・水・土壌の質の低下は、私たちが依存している基本的な生命維持システムを蝕んでいます。カリブ海や太平洋地域の人々に壊滅的な打撃を与えている熱帯性暴風雨、北米からオーストラリア、アマゾンに至るまでの記録的な熱波や火災、東アフリカの農作物を壊滅させた過去 70 年間で最悪のイナゴの大発生など、特に最も貧しく、排斥されたコミュニティの人々の命と生活が失われています。今や人類の健康とウェルビーイングのあらゆる側面が、地球環境の変化の影響を受けています。プラネタリーヘルスの科学は、私たちが方向転換しない限り、もはや人類の健康を守ることはできないと主張します。

私たちは、地球上でどう生きるのかを根本的に変えること、すなわち「大転換（Great Transition）」を必要としています。「大転換」を実現するためには、人類の活動のほぼすべての面において、急速な、うわべだけではない構造変化が必要です。これには、食料、エネルギー、工業製品の生産と消費の方法、都市の建設と居住の方法、成長、進歩、発展の検討と評価の方法、そして私たち自身のガバナンスの方法が含まれます。また、自然の中での私たちの価値観や関係性を、人間の優越主義（exceptionalism）、支配、希少性ではなく、相互依存、公平、再生を基礎として見直すことも必要になります。大転換によって、より豊かな経験、より高い幸福感、そしてすべての生物が繁栄する機会、それぞれの可能性が高まります。そのためには、人類の活動のあらゆる側面に関わる実務家、学者、政策立案者が協力しなければなりません。先住民、信仰の伝統、芸術家、起業家、科学者など、あらゆるコミュニティの声に耳を傾け、それを統合し、声を大きくすることが必要です。どんな場所において、どんな職業についているかにかかわらず、未来の世代のため、地球と人々の健康を守るために、すべての人に果たすべき役割があります。

この宣言は、ブラジルのサンパウロで開催された [2021年プラネタリーヘルス年次総会](#) でプラネタリーヘルスコミュニティによって作成され、以下の署名者によって支持されています。このコミュニティには、地理、文化、分野、専門、世代をまたぐ人々が参加しています。私たちは、政府、民間企業、市民社会、そして一般市民に対し、人類の健全で公平な未来を守り、地球上のすべての生命を保護するために、大転換に取り組むことを呼びかけます。

キーマッセージ

すべての人々へ--

意図をもって行動してください。地球 (planet) を治す (heal) パートナーとなってください。私たちは皆、相互につながった世界で共に生きており、一人ひとりの行動は他の人に影響を与えます。だからこそ、私たちは共に、人類への奉仕と、人類と共存するすべての生物種が依存する自然システムの保護と回復のために献身することを約束します。

農業分野とフードシステムに携わる方へ--

農業分野とフードシステムが、世界の食糧需要を満たし、社会正義を実現し、自然システムへの負荷を軽減するという点で、プラネタリーヘルスの中心にあることを認識してください。これからの農業のやり方や食品の選び方が、人類の健康と将来のウェルビーイングを決めます。持続可能で生産性の高い農業、健康的な食物選択につとめ、プラネタリーヘルスの専門家とともに、環境と健康にこの分野が与える負荷を軽減する解決策を講じてください。食料需要を満たしつつも自然システムを圧迫しない農業システムを定着させるため、最新の科学、数千年にわたる伝統的な知識、先住民族の知識など、あらゆる知識を活用してください。

アーティスト、詩人、作家、音楽家へ--

自然との関係そして人間同士の関係において、人間の優越主義という神話を否定し、相互に依存している事実を強調する新しい物語(narrative)を編み出すのに手を貸してください。既存の多様な文化的伝統や言語の豊かさと美しさに光をあて、とりわけ環境と健康との結びつきの大切さを讃えてください。「大転換」によって見えてくるもの、感じられるようになるものを表現し、人々がそれに向けて行動したくなるような作品を創造してください。

企業の方へ--

社会と自然のウェルビーイングが、企業の持続可能性と長期的な利益を支えています。投資や企業の行動原理は、温室効果ガスの排出量を減らし、生物多様性を高め、土壌・大気・水の汚染を減らし、健康の公平性を向上させるような、プラネタリーヘルスの価値観や戦略に対応するものでなければなりません。企業は、ネット・ゼロや、自然志向のビジ

ネスへの投資と計画の実施を直ちに開始し、愛知目標⁽¹⁾やパリ協定などを含む既存の合意への支持を表明しなければなりません。そのためには、プラネタリーバウンダリーズ⁽²⁾(**planetary boundaries**)を尊重し、プラネタリーヘルスを実現する持続可能な経済・ビジネスモデルを確立しなければなりません。「大転換」を促すような政府の政策やインセンティブへの支持を表明してください。

¹訳註：生物多様性にかかわる世界的な戦略目標

²訳註：気候変動など地球の安定性を脅かす現象に関連して人類が守るべき境界値 (**boundary**)。例えば気候変動では、全地球平均温度 2°C 上昇に相当する二酸化炭素濃度の値。現在、気候変動を含む 9 領域にバウンダリーがあるとされ、一部はすでに超えているとされる。

都市と都市計画を担当する方へ--

現在、人類のほとんどが都市に住んでいること、この傾向は今後も続くこと、今後の世界の人口増加は大部分が発展途上国の都市で起こると予想されていることを認識してください。リユースやリサイクルが可能な、環境にやさしい素材でできた都市を設計してください。屋外の空間が緻密に配置され、能動的な〔徒歩や自転車による〕移動に適した街区に、環境に配慮し、エネルギー効率の高い建物が立つような設計を行い、その建設を促してください。自動車の使用を減らし、公平性を促進するために、すべての住民がアクセス可能な公共交通機関を確保してください。周辺の生態系を保護し、エネルギーと水とを再利用する廃棄物管理システムを構築してください。心身の健康を維持しつつ、エコロジカルフットプリントを劇的に削減する潜在能力が最大限に発揮できるように、都市をデザインしてください。

経済に関わる方へ--

プラネタリーヘルスを促進するために、国内総生産 (**GDP**) の成長率を主な指標として経済の成功と発展を測ることからそろそろ卒業してください。その代わりに、真に価値あるもの-すなわち自然の保護と再生、人間のウェルビーイング、公平性、幸福など-を支える指標と投資を重視してください。そうすることによって経済は、全ての人と、経済がその一部である実世界 (**living world**) とに貢献することができます。

金融機関の方へ--

人間の経済活動が自然システムに及ぼす影響によって、世界の最貧層の人々、先住民族のコミュニティ、そして将来世代が危険にさらされている今、倫理的かつ公平な投資や融資

とは何かを、あらためて考えてください。自然を破壊し、人類に害を与えることで利益を得るプロジェクトや企業には投資せず、人間のウェルビーイングと自然システムの再生を重視した活動を優先してください。

資金提供者の方へ--

長期的かつ安定的な資金を、プラネタリーヘルスに関する新しい知識の創出や、その知識を実践に移すための活動に配分してください。プラネタリーヘルスの解決策を世界に広め、世界中のコミュニティにおける脆弱性や不公正感を軽減することを支援してください。プラネタリーヘルスの逼迫したニーズに呼応した再活性化への努力や活動の進展を支援するために、超学的な（**transdisciplinary**；訳註：アカデミア以外からも参加があるという意味）研究、政策、実践、社会運動の構築に重点を置いてください。実際に資金を活用する立場にある多くのステークホルダーと共に、助成金の募集を共同企画し、そのニーズを反映してください。地域社会を代表する人々に行き渡るような資金提供を優先することによって、資金調達におけるシステム上の障壁を取り除いてください。

政府へ--

国際的、国家的、地域的な政策、復興計画、予算において、特にポスト **COVID-19** 計画や経済・環境政策において、プラネタリーヘルスを中心に据えてください。環境に優しく健康的な復興のために、公正な経済の脱炭素化とエネルギー転換に向けた行動を実行してください。現在および今後の政府の意思決定においては、政策が健康に及ぼすコベネフィット（共益性）とコハーム（**co-harms**;共害性）を検討、評価してください。喫緊の課題として、人権である保健サービスへのアクセスが可能になるよう対策を講じてください。プラネタリーヘルスにおいて過大な不利益を被っている、最も排斥され、権利を奪われたコミュニティと協働してください。彼らの意見に耳を傾け、解決策を見出すためのリソースを委ねてください。すべての人にとって健康で安全な世界が実現されるよう、計画と解決法を設計する際には包括性と公平性を中心に据えてください。

医療従事者の方へ--

将来の医療従事者が使う主要なカリキュラムと職業上の行動規範の中に、プラネタリーヘルスの概念と価値観を直ちに取り入れてください。患者にプラネタリーヘルスの概念を教育するとともに、人間と地球との関係が良好でないことによる悪影響について[一般からの]信頼の厚い医療従事者が注意喚起の声をあげてください。先住民族の知識を含む、西洋医学を超えた多様な知識と実践とを活用してください。基本的な人権としての医療サービ

スへの公的アクセスを含め、プラネタリーヘルスを促進する患者中心の政策を支援し、診療所にとどまらない解決策やコミュニティサービスを活用してください。

ヘルス・セクター(広い意味での健康に関わる多様な部門)関係者の方へ--

物資の調達、エネルギー源、ヘルス・ケアの効率化、廃棄物の削減など、健康システムのあらゆる側面がプラネタリーヘルスの方向性に合うように調整してください。2040年までに、自然に優しく、カーボンニュートラルなヘルス・ケアのシステムを達成することを目指し、同時に、地球環境の変化に対するヘルス・ケアシステムの回復力（レジリエンス）を強化してください。疾病予防、健康増進、健康の公平性が、この転換の中心でなければなりません。先住民の伝統的な知識やその他を統合した健康法など、従来の西洋の方法を超えた健康の視点と実践を取り入れてください。公共交通および歩行や自転車など身体を使う移動手段、医療機関を含むヘルスケア施設へのアクセス、交流や余暇のために活用できて、メンタルヘルスにも良い緑地、大気・土壌と水の質、（とりわけ低収入地域における）安価で栄養価の高い食品といった、個人とコミュニティの健康の社会的、生態学的決定要因を検討してください。

国際機関の方へ--

健康な人々と健康な地球を中心に据え、その相互依存性を認識した包括的な多国間主義の実現に向け、部門の縦割りを取り払ってください。複数のアジェンダを統合し、健康と環境の結びつきを強化するためには、分野横断的、超学的な協力が不可欠です。低・中・高所得国が公平な影響力を発揮すること、ならびに人権・環境権の保護を通じ、ガバナンスを強化してください。

法律家・議員の方へ--

透明性と説明責任を含むガバナンスのメカニズムを改善し、プラネタリーヘルスに被害を与えた者に責任を負わせてください。自然を法人として指定することによって「自然の権利(Right of Nature)」を法的に認定するよう議論を進め、早急に施行してください。さらに、環境及び生態系の破壊(エコサイド)を国際法上の犯罪とすることを提唱するとともに、自然の権利を優先する世界各地の先住民族の第一法（First Law）または自然法を認識してください。さらに、将来の世代が少なくとも現在の私たちと同程度の生活を送れるような政策と法的構造を整備してください。

メディアの方へ--

大転換は、自由な報道と、議論・交流・共有のためのオープンなプラットフォームに依存します。プラネタリーヘルスに関する科学、価値観、課題、そして解決策について、社会に情報を提供し、教育してください。自然を守り、正義と公平性のために戦っている人々のストーリーを伝え、彼らの行動と安全な環境、人間の健康との関係を伝えてください。地球の自然システムを破壊し、他の人々を正当に扱わない人たちの責任を追及してください。恐怖心を煽るのではなく、刺激を与え動機付けてください。画像を使用する場合は、誠実で、描かれている人々の尊厳を尊重したものを使ってください。誤った情報を伝えるインフォデミックと戦い、従来は権力を持たなかった人々の声を届けてください。

研究者の方へ--

プラネタリーヘルスに焦点を当てた研究、政策、実践について情報を提供し、運用するための超学的な活動を始めるか、あるいはそういう活動に参加してください。その際、あらゆる知識獲得の方法と背景とを踏まえ、課題解決をめざした問題設定と応用可能性を重視してください。すべての科学者が共通の課題の解決策を見出すための真のパートナーになれるよう、中・低所得国を含む公正で公平な研究・教育環境の普及に積極的に取り組んでください。オープンサイエンスの原則と実践を推進してください。共同企画や参加型の研究をコミュニティとともに進めてください。プラネタリーヘルスをよりよく伝え、一般市民や政治家に認識してもらうための方法や協力作業に注力してください。解決策を、必要としているすべての人のために開発するよう努力してください。

学校の方へ--

幼少期からプラネタリーヘルス教育を行ってください。初等・中等教育の段階でプラネタリーヘルスの考え方を随所に取り込んだ普遍的な教育を推進し、女性や少女がこうした情報に公平にアクセスできるようにしてください。超学的で参加型のアプローチを用いて、教育者用の教育・トレーニング教材、あるいは年齢層や社会背景（**contexts**）などに適合した学校教材をデザインしてください。教室の外では、自然を利用した体験型の学習を取り入れてください。将来的にプラネタリーヘルス活動のリーダーとなるように若者を教育し、力づけ、親やコミュニティ、さらにはそれ以上のレベルでの意思決定に影響を与える能力を育成してください。

宗教・信仰の指導者へ--

世界中の人々が、共有する共通の故郷（**home**）に基づいて、統一性と連帯感を創るのを導いてください。地球と調和した繁栄と多面的な文明を育むために、古代の教えや叢智を受け入れるよう、人々の膠着した考え方を押し広げてください。多くの人々が感じている尊敬と畏敬の念をもって、自然と私たちとの関係に再び投資するように人々を導き、地球

上のすべての生命を守ることの道徳的な側面を強調してください。プラネタリーヘルスに関する教育、訓練、関与、行動のために、宗教的あるいは信仰にかかわる機関を活用してください。

技術者の方へ--

テクノロジーの力とインパクトを考慮し、すべての人と地球に利益をもたらす転換的な解決策をもたらすソリューションを促進し、根拠に基づく情報を発信してください。ウェブ上の誤った情報の流通を防ぐための国際的な活動を支援してください。廃棄物を減らすために、長寿命のテクノロジーをデザインしてください。自然や伝統的な社会、過去の取り組みからの教訓を忘れずに、地域に適合し地球の要求に応じたツールを、地域のステークホルダーと共同開発してください。分野、セクター、世界観を超えて、プラネタリーヘルスを促進する技術を開発・推進するとともに、アクセシビリティと透明性を設計と意思決定の最優先事項としてください。

大学・高等教育機関関係者へ--

大学・高等教育機関内および機関間での超学的なプラネタリーヘルス奨学金を可能にし、促進するための資源配分を提唱し、優先的に実施してください。教員の昇進と研究のインセンティブを大胆に修正することによって、共創と、証拠から政策と実践への転換とがより確実に行われるようにしてください。専門分野を問わず、プラネタリーヘルスを身につけた市民を育成するために、すべてのプログラムと学部の随所にプラネタリーヘルスのカリキュラムが組み込まれるようにしてください。すべての人が研究や教育に参加できるように、機関を超えたアクセスと公平性の確保に努めてください。

青少年代表の方へ--

大転換においては、すべての世代が重要であることを認識してください。仲間や年長者にプラネタリーヘルスを推進するよう力付けてください。若者や将来世代が意思決定の場に平等に参加するため、若者は誰でも同じようなものという固定観念の押し付けは跳ね除けましょう。プラネタリーヘルスのグループや組織に参加し、あなたの世代とすべての世代のための共創を行いましょ。すべての存在にとって健全で公平な未来を思い浮かべ、それに向けてリーダーシップを発揮するために、大胆で創造的であってください。

結論

私たちプラネタリー・ヘルス・コミュニティは、すべてのステークホルダーに対し、「大転換」を実現するために緊急かつ断固とした行動をとることを呼びかけます。私たちの提

言とステークホルダーのリストは、すべてを網羅したものではありません。これらは、パンデミック後のより公正でレジリエントな世界を支えるための最も有望な道筋を示す羅針盤なのです。縦割りの中では働くことも生きることもできません。地球での暮らし方の変革を触媒し、実現するには、人類社会全体をまたぐ広範なパートナーシップが必要です。誰もがそれぞれ固有の役割を持っていますが、プラネタリーヘルスの原則に根ざしたグローバルコミュニティとして協力することによって、初めて大転換を成し遂げるための共創が可能となるのです。



<翻訳担当者>

代表：長崎大学 政策企画室

趣旨賛同者：

東京医科歯科大学

東京大学大学院医学系研究科 国際保健学専攻

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻

大阪大学名誉教授 中村安秀

熊本大学

The Planetary Health Alliance and the University of São Paulo would like to thank Nagasaki University for this translation.